# 平成24年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年８月10日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 上 場 会 社 名 | 株式会社パイロットコーポレーション | | | 上場取引所 | 東・大 |
| コ ー ド 番 号 | 7846 | | URL | http://www.pilot.co.jp/ | |
| 代　　表　　者 | （役職名） 代表取締役社長 | （氏名） | 渡辺　広基 | | |
| 問合せ先責任者 | （役職名） 常務取締役 | （氏名） | 小久保　好雄 | (TEL) 03-3538-3700 | |
| 四半期報告書提出予定日 | 平成24年８月10日 | 配当支払開始予定日 | | 平成24年９月10日 | |

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

## １．平成24年12月期第２四半期の連結業績（平成24年１月１日～平成24年６月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年12月期第２四半期 | 35,149 | △1.6 | 3,122 | △4.2 | 2,785 | △15.7 | 2,015 | △19.5 |
| 23年12月期第２四半期 | 35,726 | 1.4 | 3,259 | 12.7 | 3,305 | 36.4 | 2,501 | 37.7 |

(注) 包括利益 24年12月期第２四半期　2,028百万円(△32.1%) 23年12月期第２四半期　2,988百万円(―%)

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年12月期第２四半期 | 8,733.74 | ― |
| 23年12月期第２四半期 | 10,874.28 | ― |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年12月期第２四半期 | 74,700 | 34,019 | 44.7 |
| 23年12月期 | 71,519 | 32,176 | 44.2 |

(参考) 自己資本 24年12月期第２四半期　33,406百万円　　23年12月期　31,590百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年12月期 | ― | 1,000.00 | ― | 1,000.00 | 2,000.00 |
| 24年12月期 | ― | 1,000.00 | | | |
| 24年12月期(予想) | | | ― | 1,000.00 | 2,000.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

## ３．平成24年12月期の連結業績予想（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 70,000 | 0.9 | 4,300 | △12.3 | 4,000 | △13.2 | 2,700 | △2.6 | 11,690.44 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

(注)詳細は、添付資料５ページ「２.（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
②　①以外の会計方針の変更　　：無
③　会計上の見積りの変更　　：無
④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 24年12月期２Ｑ | 234,072株 | 23年12月期 | 234,072株 |
| ②　期末自己株式数 | 24年12月期２Ｑ | 3,114株 | 23年12月期 | 3,498株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 24年12月期２Ｑ | 230,744株 | 23年12月期２Ｑ | 230,079株 |

(注)従業員持株ＥＳＯＰ信託口が所有する当社株式については、四半期連結財務諸表において自己株式として会計処理しているため、「期中平均株式数（四半期累計）」は、当該株式の数を23年12月期２Ｑでは3,993.33株、24年12月期２Ｑでは3,328.33株控除し算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）４ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
（４）追加情報 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書 …… 8
四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）継続企業の前提に関する注記 ……10
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年１月１日から平成24年６月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などが内需をけん引し、緩やかな回復を示しました。一方で、欧州債務危機の影響による円高圧力が残る中、夏場の電力不足などの懸念材料もあり、依然として不透明感が残る状況で推移しました。

また、世界経済におきましても、欧州金融不安の拡大・再燃による中国経済の減速や、米国での雇用問題の長期化による個人消費の失速など、先行きに不安が残る状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループでは、基幹事業であるステイショナリー用品事業において、「フリクションボール」をはじめとする利益率の高い自社製品の販売に注力しました。また、引き続き経営の効率化によるコスト削減と研究開発力の強化充実に注力し、世界で戦えるコストでの生産体制実現と特色ある新製品群の開発に向けて取り組みました。

以上により、当第２四半期連結累計期間の連結売上高は、為替の影響による前年同期比約13億円の減収要因があり、351億49百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

国内外別では、国内市場における連結売上高が133億８百万円（前年同期比5.8%増）、海外市場における連結売上高は218億41百万円（前年同期比5.7%減）であります。

また、損益面につきましては、連結営業利益が31億22百万円（前年同期比4.2%減）、連結経常利益は27億85百万円（前年同期比15.7%減）、連結四半期純利益は20億15百万円（前年同期比19.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

当社グループの報告セグメントは、当社及び連結子会社の所在地に基づき決定されております。

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間 | | 当第２四半期連結累計期間 | | 増減率（%） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| 日本 | 16,182 | 2,361 | 15,771 | 2,803 | △2.5 | 18.7 |
| 米州 | 7,971 | 514 | 7,834 | 338 | △1.7 | △34.3 |
| 欧州 | 8,641 | 602 | 8,472 | 602 | △1.9 | △0.1 |
| アジア | 2,077 | 44 | 2,240 | 81 | 7.8 | 81.8 |
| その他の地域 | 853 | 24 | 831 | △62 | △2.6 | ― |
| 調整額 | ― | △288 | ― | △641 | ― | ― |
| 合計 | 35,726 | 3,259 | 35,149 | 3,122 | △1.6 | △4.2 |

（注） １ 「その他の地域」には、アフリカ、オセアニアを含んでおります。
２ 売上高は、外部顧客への売上高であります。
３ 調整額は、セグメント間取引消去であります。
４ 国内外別（マーケット別）の売上高は次のとおりです。

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間 | 当第２四半期連結累計期間 | 増減率（%） |
|---|---|---|---|
| 国内市場 | 12,573 | 13,308 | 5.8 |
| 海外市場 | 23,153 | 21,841 | △5.7 |
| 売上高合計 | 35,726 | 35,149 | △1.6 |

（日本）

国内のステイショナリー市場におきましては、当社の強みである「小売店への直販をベースとした販売体制」のメリットを活かし、「フリクションボール」など、利益率の高い自社製品の販売に注力しました。

また、消費者のパーソナル化志向に対応して進めてきたシリーズ化も効果をあげました。特に、消せるインキの「フリクション」シリーズでは、引き続き「フリクションボールノック」の販売が好調であることに加え、「フリクションカラーズ」や「フリクションライト」、さらには、人気の多色ボールペンタイプ「フリクションボール３」など、ラインナップの充実によりシリーズ全体で前年同期実績を大きく上回る売上となりました。

シャープペンシルでは、発売から20周年を迎えた「ドクターグリップ」シリーズの「ドクターグリップＣＬプレイボーダー」の販売が堅調に推移すると共に、高純度グラファイト配合により、折れにくく書き味がなめらかなシャープ芯「ネオックス・グラファイト」の販売も好調であり、売上増加に貢献しました。

油性ボールペンでは、なめらかに濃く書ける低粘度アクロインキと筆記コントロールがしやすいタイヤパターングリップが特長の「アクロボール」を、世界戦略商品として販売拡大に向け注力しました。

さらに、安定した濃い筆跡とカートリッジ式補充インキが特長のホワイトボードマーカー「ボードマスター」は、その品質と経済性が認められ販売数量が伸長しました。

高級筆記具では、細身で美しい多機能筆記具の「ツープラスワンリッジ」や、美しく輝くアルミボディの「ツープラスワンエボルト」がビジネスユースを中心に好評であり、売上増加に貢献しました。

一方、玩具事業におきましては、少子化の影響などもあって玩具市場全体の回復には至らず、引き続き厳しい状況で推移しました。

以上の結果、主力の筆記具では好調であったものの、仕入商品である電算機用品類や玩具事業などの減収要因があり、外部顧客に対する売上高は157億71百万円（前年同期比2.5%減）となりましたが、営業利益は28億３百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

（米州）

米州地域におきましては、主要販売先であるアメリカにおいて、新学期に向けた販売促進活動を展開したことにより、ゲルインキボールペンの定番品として人気の「Ｇ－２（ジーツー）」や、環境配慮商品である「ビグリーン」シリーズに加わった油性インキタイプの「Ｂ２Ｐ（ビーツーピー）」の販売が特に好調でありました。

ブラジルでは、当社が主力ブランドとして地位を占める油性マーカーや、ホワイトボードマーカーの売上が引き続き好調でありました。以上の結果、米州地域における現地通貨ベースでの売上は伸長したものの、円高の影響を受け外部顧客に対する売上高は78億34百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は３億38百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

（欧州）

欧州地域におきましては、フランスやドイツなど主要国を中心に引き続き「フリクション」シリーズの販売が好調でありました。

また、昨年からの急激な円高の影響も受けておりますが、その減収分については、値上げにより一部吸収を図りました。

以上の結果、欧州地域における現地通貨ベースでの売上は伸長したものの、円高の影響を受け外部顧客に対する売上高は84億72百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は６億２百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

（アジア）

アジア地域におきましては、引き続き中国の販売体制強化と積極的な販売拡大に取り組んだ結果、「フリクションボール」を中心に前年同期を上回る売上となりました。

また、シンガポールや香港においては、「Ｇ－２（ジーツー）」や「アクロボール」に加え、ホワイトボードマーカーの販売が好調であり、前年を上回る売上となりました。

以上の結果、外部顧客に対する売上高は22億40百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は81百万円（前年同期比81.8%増）となりました。

（その他の地域）

その他の地域につきましては、オーストラリアや南アフリカにおける販売拡大に向け、市場ニーズを捉えながら中長期的な取り組みを継続しております。

以上の結果、外部顧客に対する売上高は８億31百万円（前年同期比2.6%減）、営業損失は62百万円（前年同期は営業利益24百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末比31億81百万円増加し、747億円となりました。

流動資産は20億60百万円増加し454億83百万円となり、固定資産は11億20百万円増加し292億16百万円となりました。

流動資産については、「現金及び預金」が６億58百万円減少する一方、「受取手形及び売掛金」が６億48百万円、棚卸資産（「商品及び製品」、「仕掛品」、「原材料及び貯蔵品」の合計）が15億50百万円、「繰延税金資産」が８億57百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。固定資産については、有形固定資産の増加12億56百万円、「投資有価証券」の増加１億94百万円、「前払年金費用」の減少３億９百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末比13億38百万円増加し、406億81百万円となりました。

流動負債は、28億12百万円増加し268億69百万円となり、固定負債は14億73百万円減少し138億11百万円となりました。

流動負債については、「支払手形及び買掛金」の増加17億３百万円、「未払法人税等」の増加10億69百万円が主な要因であります。固定負債については、「長期借入金」の減少14億40百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末比18億42百万円増加し、340億19百万円となりました。これについては、「利益剰余金」の増加17億84百万円が主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年２月13日に公表しました連結業績予想から修正はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

主な連結子会社は、税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準)

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号　平成21年12月４日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日)を適用しております。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年12月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,086 | 8,428 |
| 受取手形及び売掛金 | 16,386 | 17,035 |
| 商品及び製品 | 9,688 | 10,774 |
| 仕掛品 | 3,811 | 4,074 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,568 | 1,770 |
| 繰延税金資産 | 1,400 | 2,258 |
| その他 | 1,563 | 1,258 |
| 貸倒引当金 | △83 | △117 |
| 流動資産合計 | 43,423 | 45,483 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 17,048 | 17,163 |
| 減価償却累計額 | △9,546 | △9,834 |
| 建物及び構築物（純額） | 7,501 | 7,328 |
| 機械装置及び運搬具 | 23,351 | 23,733 |
| 減価償却累計額 | △20,264 | △20,551 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 3,087 | 3,181 |
| その他 | 14,848 | 15,023 |
| 減価償却累計額 | △13,662 | △13,861 |
| その他（純額） | 1,186 | 1,162 |
| 土地 | 6,438 | 6,431 |
| 建設仮勘定 | 554 | 1,919 |
| 有形固定資産合計 | 18,768 | 20,024 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 4,545 | 4,545 |
| その他 | 389 | 355 |
| 無形固定資産合計 | 4,934 | 4,900 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,136 | 3,331 |
| 繰延税金資産 | 165 | 199 |
| 前払年金費用 | 502 | 192 |
| その他 | 757 | 726 |
| 貸倒引当金 | △169 | △158 |
| 投資その他の資産合計 | 4,393 | 4,291 |
| 固定資産合計 | 28,095 | 29,216 |
| 資産合計 | 71,519 | 74,700 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度<br>(平成23年12月31日) | 当第２四半期連結会計期間<br>(平成24年６月30日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,080 | 12,784 |
| 短期借入金 | 4,938 | 4,639 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,788 | 2,864 |
| 未払法人税等 | 288 | 1,358 |
| 未払費用 | 2,119 | 2,213 |
| 繰延税金負債 | 5 | 12 |
| 返品調整引当金 | 146 | 143 |
| 賞与引当金 | 380 | 373 |
| 役員賞与引当金 | 50 | 17 |
| 設備関係支払手形 | 77 | 155 |
| その他 | 2,182 | 2,307 |
| 流動負債合計 | 24,057 | 26,869 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 13,142 | 11,702 |
| 繰延税金負債 | 148 | 122 |
| 退職給付引当金 | 370 | 395 |
| 役員退職慰労引当金 | 210 | 234 |
| 環境対策引当金 | 42 | 42 |
| 負ののれん | 1,198 | 1,138 |
| その他 | 171 | 176 |
| 固定負債合計 | 15,284 | 13,811 |
| 負債合計 | 39,342 | 40,681 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,340 | 2,340 |
| 資本剰余金 | 8,856 | 8,871 |
| 利益剰余金 | 27,812 | 29,597 |
| 自己株式 | △353 | △314 |
| 株主資本合計 | 38,656 | 40,495 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △350 | △213 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | 4 |
| 為替換算調整勘定 | △6,728 | △6,891 |
| 在外子会社年金債務調整額 | 12 | 11 |
| その他の包括利益累計額合計 | △7,065 | △7,088 |
| 少数株主持分 | 585 | 612 |
| 純資産合計 | 32,176 | 34,019 |
| 負債純資産合計 | 71,519 | 74,700 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年１月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 35,726 | 35,149 |
| 売上原価 | 19,822 | 19,249 |
| 売上総利益 | 15,903 | 15,900 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,644 | 12,778 |
| 営業利益 | 3,259 | 3,122 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 202 | 152 |
| 負ののれん償却額 | 59 | 59 |
| 為替差益 | 90 | － |
| その他 | 212 | 154 |
| 営業外収益合計 | 565 | 366 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 191 | 166 |
| 退職給付会計基準変更時差異の処理額 | 288 | 288 |
| 為替差損 | － | 202 |
| その他 | 39 | 44 |
| 営業外費用合計 | 519 | 702 |
| 経常利益 | 3,305 | 2,785 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 128 | 8 |
| 貸倒引当金戻入額 | 4 | － |
| 特別利益合計 | 132 | 8 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 4 | 0 |
| 固定資産除却損 | 12 | 2 |
| 投資有価証券評価損 | － | 140 |
| 減損損失 | 36 | － |
| 災害による損失 | 4 | － |
| 役員退職慰労金 | 7 | － |
| 事業構造改善費用 | － | 24 |
| 特別損失合計 | 65 | 167 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,372 | 2,626 |
| 法人税等 | 853 | 592 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,519 | 2,033 |
| 少数株主利益 | 17 | 18 |
| 四半期純利益 | 2,501 | 2,015 |

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年１月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,519 | 2,033 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △59 | 136 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2 | 4 |
| 為替換算調整勘定 | 531 | △145 |
| 在外子会社年金債務調整額 | － | △0 |
| その他の包括利益合計 | 468 | △5 |
| 四半期包括利益 | 2,988 | 2,028 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,962 | 1,992 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 25 | 36 |

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。